

# 29 マーブル染め

(料金150円)

マーブル染めとは、マーブリングの技法を使って、ハンカチ等を染め、色彩の美しさを楽しむ活動である。

## 1 ねらい

マーブル染めを通して、色に対する興味・関心を深めるとともに、染色することの喜びを味わう。

2 対象及び最大人数 小学5年生以上 50人

3 所要時間 120分

## 4 準備

(1) 材料 ハンカチ、マーブリング糊H (粉末)、マーブリングレベラー (液体)  
マーブルカラー、堅ろうフィックスセット

(2) 道具 アイロン、アイロン台、簡易バット枠、ビニールシート(ぽかぽかシート)  
ポリバケツ、新聞紙、箸またガラス棒

## 5 制作

(1) マーブリング糊液をあらかじめ作っておく。

① 水平なテーブルの上に枠を置き、ビニールシート(ぽかぽかシート)を重ねる。



② ポリバケツに50～70℃のお湯を5リットル入れ、マーブリング糊H (粉末) を1袋、攪拌しながら加える。最初は粘りが出てくるが、10分ほどすると透明になる。



③ 糊液が冷めたら、マーブリングレベラー (液体) を1袋加え、均一に混ぜる。



④ 溶けたマーブリング糊Hを1cmくらいの深さになるよう、バットに入れる。



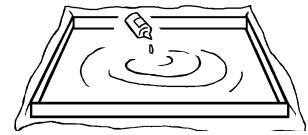
(2) ハンカチにはアイロンをかけ、しわをとる。



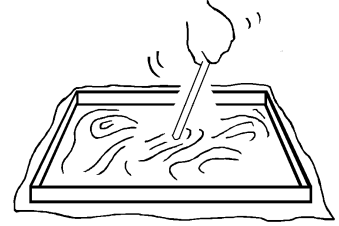
(3) 糊液の表面についている油分等の汚れを取り除くため、全体に新聞紙を密着させ、静かにはがす。



(4) 好きなマーブルカラーを選んだら、容器の口先をできるだけ水面に近づけて、数滴落とす。しばらくして色が広がったら、色を変えて次を落とす。同じところに落とすと年輪状になる。

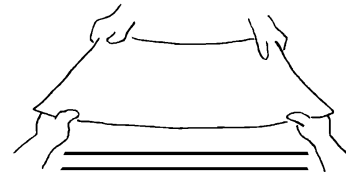


(5) 色を落とし終わったら、箸、ガラス棒等を使い、左右交互に線を引くようにして模様を作る。



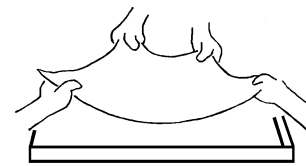
(6) 模様ができたら、ハンカチの両端を2人で持ち、同時に液に浸け、手早く写し取る。

はやく浸けすぎると濃い線状のムラになり、遅すぎると白く帯状のムラができるので注意する。

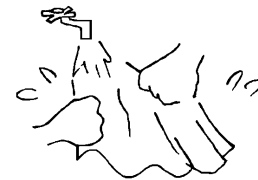


(7) 模様が写し取れたら、静かにゆっくり引き上げる。

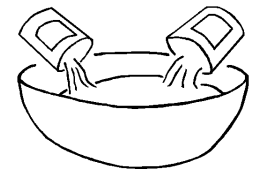
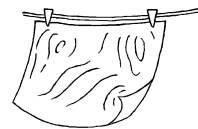
流れ落ちる、汚れた液はボール等で受け、バットの中に入れないようにする。



(8) 流水を斜めからあて、裏から表を色が出なくなるまでよく洗う。水を勢いよく当てたり、もみ洗いしたりすると色が落ちるので注意する。

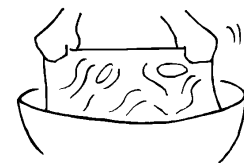


(9) タオル等で水分を十分ふき取り、自然乾、燥、またはドライヤーで乾燥させる。



(10) 水500ccに堅ろうフィックスセット(ハイブレン50g・オキザール12g)を加え、色止め処理の液を作る。

(11) (10) によく乾燥させたハンカチを浸ける→絞る  
→浸ける作業を繰り返し、全体に染み込ませる。  
全体に含ませたあと、1枚ずつ固く絞る。



(12) タオルにはさんで脱水する。多量の場合は洗濯機で脱水する。



(13) ハンカチが乾いたら、アイロンをかけ、固着する。

